

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：ほのぼのいぶき	種別：地域密着型特別養護老人ホーム	
代表者氏名：田宮 仁史	定員（利用人数）： 20 名	
所在地：岐阜県不破郡垂井町府中1947番地1		
TEL：0584-22-5701	ホームページ：www.ibukien.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成28年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 白寿会		
職員数	常勤職員： 9 名	非常勤職員 2 名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	介護福祉士 7 名	
	看護師 2 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	個室 19室	地域交流スペース 浴室2 医務室 相談室2 事務室

③理念・基本方針（※転載）

【法人理念】

ともに暮らし、ともに喜び
ともに支え、ともに生き
ともに高め、ともに歩む

【基本方針】

1. ご利用者がその人らしく過ごせるように心に寄り添い、喜びを分かち合います。
1. 地域と力を合わせ、住みよいまちづくりに貢献します。
1. 職員が互いに高め合い、いきいきと働ける職場をつくります。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・平成14年に全国で4番目となる学習療法を取り入れ、認知症状の改善に向けた取り組みを実施しており、利用者の生活の一部、日課の一つとなっている。職員は全員が学習療法実践士を取得している。
- ・キャリア段位制度を活用した取り組みや、プリセプター制度(中途採用者は3か月、新人は半年の期間、先輩職員の相談役をつけて面倒見させる)等の実施を通して、人材育成を行っている。
- ・34の運営管理、接遇、項目別の委員会が編成され、各ユニットから担当職員が参加し、業務や運営について話し合うことで職員の幅広い意見が集約され、ケアの質の向上につながっている。
- ・委員会のそれぞれの分野別に職員が業務を遂行するにあたり、留意すべき点をまとめ、ポケットブック(職員必携)編集に向けた取り組みを行っている。
- ・職員の負担軽減を目指した介護ロボットを積極的に導入(見守りセンサーや移動サポートロボット等)している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年9月22日(契約日) ~ 平成30年3月14日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	初回(平成30年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

<利用者の思いや意向の把握に努め、その思いの実現に向けて努力している。>

入所時のカンファレンスでは、相談員、看護師、フロア担当職員、ケアマネージャー、機能訓練士、栄養士等が参加し、利用者の生活歴や習慣、本人の思いや意向について情報収集し、在宅時の馴染みの関係が継続できるよう取り組んでいる。

<地域福祉の拠点施設として、地域交流・地域貢献に努めている。>

地域の高齢者と対象とした「脳の健康教室」や認知症の人を中心とした認知症カフェ「メモリーカフェいぶきっさ」を毎月開催している。また、介護予防出前講座、地域交流スペースの地域開放の実施、災害時支援の取り組みを行う等、地域の高齢者介護施設の拠点施設として、地域交流・地域貢献に努めている。今年の夏祭りでは、毎年恒例の盆踊りに加えて、介護施設について地域の方に知っていただけるよう「いぶき・ボン・マルシェ(良い市場)」と名付けたイベントを開催し、多くの来苑者があった。

<利用者、家族の意向に沿った看取りケアを提供している。>

看取りケアプランや看取り後のカンファレンスの実施により、介護職員の不安や負担感の軽減を図るとともに、ターミナル期にける利用者、家族の意向に沿ったケアを提供している。

＜業務の効率化を推進し、経営体質の強化に努めている。＞

コスト・ベネフィットのバランス性を重視した業務の効率化について検討する等、経営の改善に取り組んでいる。とりわけ、介護ICT化やロボット導入等を今後のプライオリティの高い課題とし、ICTの活用による業務の効率化を推進している。

◇改善を求められる点

＜目標管理制度を活用した職員育成に向けた取り組みが、未だ途上の段階である。＞

職員一人ひとりの目標管理シートはあるが、個人目標に対して目標達成状況や取り組み状況の確認やフィードバックは不十分である。管理者は年2回（年度中間や年度末）に全職員に面接しており、職員の意向や状況は把握しているので、今後、目標管理制度の充実にに向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、ケアサービスのあり方や施設経営全般について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、多様化する高齢者介護ニーズに対応したケアサービスの提供に努めていきたいと考えています。また、今後とも、地域に根差した施設として、一層地域貢献への取り組みを進めていきたいと考えています。さらに、人材確保が困難な中、ICTや介護ロボットの活用、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境の整備を押し進め、人々に選ばれる「魅力ある職場」を目指します。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。